

看護学科（昼間部3年制）

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
基礎分野	論理学 Logic	必修	講義	1	30		30					物事の筋道を理解して順序立てて考える思考の法則・形式を明らかにし、論理学を用いて論理的思考ができ、効果的に看護実践に活用する方法を学ぶ。
	看護と人間工学 Nursing and ergonomics	必修	講義	1	15	15						看護の場面では物理的なものの見方や、人間の体の運動生理学と力学を関係させたメカニズムを理解し、安全・安楽な移動の援助に活用する。
	情報科学 Information science	必修	講義	2	30	30						情報科学社会にある現代の個人情報の意味や課題などを学ぶ。さらにコンピュータの基本構成・動作を理解し、効果的伝達手段の活用方法を学ぶ。
	哲学 Philoshy	必修	講義	1	15	15						過去の哲学思想を学びながら、同時に現代のわれわれの日常生活を反省することを通して、哲学的なものの考え方を習得する。特に「人間とは何か」という視点から人間の現象を理解する。
	環境学 Environmental	必修	講義	1	15	15						自然環境・社会環境・都市環境など、人間の生活を取り巻く環境とその人間、動植物への影響について学ぶ。
	心理学 Psychics	必修	講義	1	30	30						人間の表面に表れた行動から、内面の心理を推察する方法を駆使することを通して、行動の科学として心理学の基本的な考え方を身につける。
	人間関係論 Human Relations	必修	講義	1	30	30						実践的な人間関係力の向上のために、「人との関わり」「周囲とのかかわりと成長」「人間関係の成り立ち」といった知識的学習をする。
	教育学 Pedagogy	必修	講義	1	15		15					人間の生活・人生において教育の意味と実際について理解を深め、より望ましい生活・人生を実現するため、教育についての見方・考え方を学ぶ。
	倫理学 Ethics	必修	講義	1	30	30						倫理学とは、看護実践行動の基準となる規範を示す学問領域である。生命倫理、医療倫理、看護倫理の歴史的経緯を踏まえ、看護職にとっての看護倫理の基本理論や倫理的概念を学ぶ。
	家族と社会学 Family and sociology	必修	講義	1	30		30					家族を家族社会学的視点から考察し、家族ストレス理論、家族システム理論、家族発達理論に注目し、患者・家族支援のアプローチについて学ぶ。
	コミュニケーション学 Communication	必修	講義	1	30	30						コミュニケーションについての基本的な知識を理解するとともに保健・医療・福祉のチームの一員としての連携・協働を図るためのコラボレーション能力の知識を身につける。
	メディカル英語 Medical English	必修	講義	1	30	30						医療現場で必要となる英語力を身につけるために、医学英語・看護英語を学ぶ。
	コミュニケーション英語 English conversation	必修	講義	1	15			15				グローバル化が進む中、価値観や文化などが異なる他者とのコミュニケーションについて学び多言語・多文化政策について考える。また、海外研修を通じて実際に学ぶ。
	健康スポーツ学 Health and Sports Studies	必修	演習	1	30	30						スポーツを通し、心身の健やかな成長をねらうと共に、自己の体調・健康管理につなげられる知識・技術を学ぶ。

区分		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
							前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専門基礎分野	人体の構造と機能	生体機能学Ⅰ Study of Biological FunctionⅠ	必修	講義	1	30	30						「呼吸」「循環」「血液」系器官について人間の生命活動に直結する器官の形態と構造、その機能と役割を学ぶ。
		生体機能学Ⅱ Study of Biological FunctionⅡ	必修	講義	1	30	30						「消化器」「代謝内分泌」「腎泌尿器」系器官について栄養の消化吸收、排泄のメカニズムに関する器官の形態と構造、その機能と役割を学ぶ。
		生体機能学Ⅲ Study of Biological FunctionⅢ	必修	講義	1	15	15						「骨・筋・運動」「脳神経」系器官について、神経刺激・興奮のメカニズムと神経系のネットワークが運動機能に結びつく経路について学ぶ。
		生体機能学Ⅳ Study of Biological FunctionⅣ	必修	講義	1	30		30					視力・聴覚・皮膚感覚器系と生殖系の領域について、人間の始まりから成長発達そして老化へのプロセスを学んでいき、人間が外界から防御する仕組みを学ぶ。
		生化学 Biochemistry	必修	講義	1	30		30					人体を構成している物質がどのような化合物で成り立っているのか、それらの化合物がどのようにつくられ、壊されて、生体の恒常性が保たれているかということ学ぶ。
	疾病の成り立ちと回復の促進	病態総論(病理学) Pathology	必修	講義	2	30		30					病理学について、組織・器官に表れる変化や病態は、生物学的なヒトに起こっている現象、病因(疾病を起こす因子、疾病が引き起こされるプロセス)、症状、徴候、治療と一連の流れを系統的に学ぶ。
		疾病論Ⅰ(呼吸・循環・血液) Theory of DiseaseⅠ	必修	講義	2	45		45					生命活動に直結する器官の疾患の基礎的知識として「呼吸」「循環」「血液」系の病態と治療について学ぶ。
		疾病論Ⅱ(消化器・代謝内分泌・腎泌尿) Theory of DiseaseⅡ	必修	講義	1	30		30					体のメカニズムについて学習をフィードバックしながら消化器・内分泌・腎泌尿器に障害を生じた場合の疾患の成因と病態生理、検査・治療について学ぶ。
		疾病論Ⅲ(脳神経・運動器) Theory of DiseaseⅢ	必修	講義	1	30		30					骨・筋・運動機能領域の疾患では、骨折、椎間板ヘルニア、リウマチ、脊髄損傷などによる運動障害や機能障害を学ぶ。脳神経の領域の疾患では、脳血管障害や難病などについて学ぶ。
		疾病論Ⅳ(感覚器・生殖器) Theory of DiseaseⅣ	必修	講義	1	30				30			体のメカニズムについて学習をフィードバックしながら生体の防御・免疫機能や感覚器・生殖器・耳鼻咽喉に障害を生じた場合の疾患の成因と病態生理、検査・治療について学ぶ。
		治療論Ⅰ(薬理学) Theory of TreatmentⅠ	必修	講義	1	30			30				薬理学の目的、薬物の定義、薬物療法の原則や薬物の歴史を学び、更に薬物が体内に入っているメカニズムや主作用・副作用を学ぶ。
		治療論Ⅱ(微生物学) Theory of TreatmentⅡ	必修	講義	1	15		15					ヒトと動物に関わる微生物について概略を知り、微生物を制御する方法、感染症発生の仕組みを理解し、感染予防の意義と感染予防や予防活動について学ぶ。
		治療論Ⅲ(栄養学) Theory of TreatmentⅢ	必修	講義	1	30			30				人間にとっての栄養の意義、栄養と健康のかかわりについて、人間の生理機能との関連から栄養の基本的概念と各種栄養素、主要食品の栄養学的意義を学ぶ。
		治療論Ⅳ (検査・放射線・リハビリ・ME) Theory of TreatmentⅣ	必修	講義	1	30			30				検査内容と疾患のつながりを臓器別に理解し、臨床検査の基礎知識を学び、更に放射線療法・リハビリテーション療法について学ぶ。また、医療機器のメカニズムを理解し、使用するための原理原則について学ぶ。
	健康支援と社会保障制度	公衆衛生学 Public Health	必修	講義	2	30			30				社会と健康、衛生、公衆衛生学の概念を学び、理論を理解する。また、個人及び集団・社会における健康増進、保健予防を実践するための基礎的方法論を学ぶ。

区分		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
							前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専門基礎分野	健康支援と社会保障制度	総合医療論 Comprehensive Medical Theory	必修	講義	1	15				15			生命、健康、病気について考え、日本の保健医療福祉活動について学ぶとともに保健医療の現象について看護の視点から理解を深める。
		社会保障制度 Social Security System	必修	講義	1	15			15				社会保障制度について理解し、地域社会が抱える生活課題を解決するために必要な社会資源とサポートシステムについて学ぶ。
		社会福祉 Social Welfare	必修	講義	1	15			15				社会保障制度について理解し、地域社会が抱える生活課題を解決するために必要な社会資源とサポートシステムについて学ぶ。
		関係法規 Relevant Law	必修	講義	1	15				15			保健医療に関する諸制度の概要を理解し、看護に必要な法律の基礎知識・保健・医療・法規を学ぶ。
専門分野	基礎看護学	基礎看護学概論 Introduction of Fundamental Nursing Science	必修	講義	1	30	30						看護の基本となる概念を体系的に理解し、保健・医療・福祉の広い視野で、看護の機能、役割を学ぶ。
		看護研究Ⅰ Nursing studyⅠ	必修	演習	1	30				30			看護研究について、方法論の基礎を学習し、看護の質の向上や科学的根拠に基づく看護を目指す姿勢と必要性を養う。
		看護研究Ⅱ Nursing studyⅡ	必修	演習	2	60						60	実際に看護研究をまとめ発表を行い学びを深める。
		基礎看護技術Ⅰ Basic Nursing SkillⅠ	必修	演習	1	30	30						全ての基礎看護技術の基盤にあるコミュニケーション技術、看護を計画的に展開する際基本となるヘルスアセスメント技術、アセスメントに基づく情報を活用して看護を展開する技術について学ぶ。
		基礎看護技術Ⅱ Basic Nursing SkillⅡ	必修	演習	1	30	30						生活環境を整える方法、感染予防、安全・安楽の技術の概要と具体的方法について学ぶ。
		フィジカルアセスメント Physical Assessment	必修	演習	1	30		30					全ての看護展開の基礎となる、看護の対象の健康状態を把握するために必要なフィジカルアセスメント理論を学ぶ。
		生活援助論Ⅰ Basic Procedures in Nursin SkillⅠ	必修	演習	1	30	30						人間にとっての食事・栄養と排泄の意味を理解して、対象が健康生活を送るために必要な援助の方法を学ぶ。
		生活援助論Ⅱ Basic Procedures in Nursin SkillⅡ	必修	演習	1	30	30						人間にとっての活動・休息、身体の清潔の意味を理解して、対象が健康生活を送るために必要な援助の方法を習得する。
		診療の補助技術 Technique to Support Medical Treatment	必修	演習	1	30		30					健康を促進するために必要な、診療の補助行為（検査・治療・処置）に関わる援助方法の基本について学ぶ。
		臨床看護技術Ⅰ Clinical Nursing SkillⅠ	必修	演習	1	15		15					様々な健康上のニーズをもつあらゆる年齢層の人々に、既習の基本的な看護の考え方や知識・技術を統合して応用するプロセスやその看護の実際・実践を学ぶ。
		臨床看護技術Ⅱ Clinical Nursing SkillⅡ	必修	演習	1	30		30					主要症状に対して、人間の解剖生理学的メカニズムを理解し、対象の症状を改善するために必要な援助の方法を学ぶ。

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専門分野	地域・在宅看護論	地域・在宅看護概論Ⅰ Local& Introduction to Home Care Nursing I	必修	演習	2	45	45					フィールドワーク等を通じて、地域の課題の発見に取り組むことで、地域社会に関心を持ち将来、看護師としての視点の広がりや主体的に行動できる動機づけとなることを目標としている。また、地域社会に関する知識やフィールドワーク手法の学習も経験する。
		地域・在宅看護概論Ⅱ Local& Introduction to Home Care Nursing II	必修	演習	1	15		15				在宅看護の目的、看護師の役割、対象とその家族を理解し、対象となる人々のQOLに着目し、在宅看護を展開する上で必要な知識や諸制度を学ぶ。
		地域・在宅看護援助論Ⅰ Local&Home Care Nursing I	必修	演習	1	30			30			在宅療養者とその家族を対象に、在宅看護を展開するためのアセスメント方法、看護計画、在宅ケアの連携やケアマネジメント、社会資源を活用するための方法について学ぶ。
		地域・在宅看護援助論Ⅱ Local&Home Care Nursing II	必修	講義	1	30			30			在宅看護を展開するために、在宅で求められる実践的な看護技術を学習する。
		地域・在宅看護援助論Ⅲ Local&Home Care Nursing III	必修	講義	1	30			30			在宅で看護を提供していく流れを、特徴的な事例を通して学習する。
	成人看護学	成人看護学概論 Introduction to Adult nursing	必修	講義	1	30	30					成人における成長と発達、身体機能の特徴と生活行動を関連させて理解し、生活者としての活動や価値観、健康教育について学ぶ。
		成人看護学援助論Ⅰ Adult Nursing Care I	必修	演習	1	30		30				セルフマネジメントの基本的な考え方、アセスメントの視点、患者の力を引き出すための実践、活用する理論、患者教育などのあり方や方法を学ぶ。
		成人看護学援助論Ⅱ Adult Nursing Care II	必修	演習	1	30		30				「健康危機状況」の概念を捉え、周手術期、救命救急、終末期看護の共通する視点から、成人が極めて深刻なセルフケア困難に陥っているときの看護について学ぶ。
		成人看護学援助論Ⅲ Adult Nursing Care III	必修	演習	1	30		30				人生最期のとき終末期という病気の一定の時期に限らず、苦痛を全人的苦痛として捉え、緩和する知識技術について学ぶ。
		成人看護学援助論Ⅳ Adult Nursing Care IV	必修	演習	1	30			30			外傷や疾病により、セルフケア低下の状態に陥った中途障害者が、セルフケアを再獲得し、再び「その人らしく生きていく」ための看護支援について学ぶ。
		成人看護学援助論Ⅴ Adult Nursing Care V	必修	演習	1	30			30			事例やシミュレーターを通して、成人看護に必要な日常生活援助技術を学ぶ。看護過程展開による問題解決思考過程で実践可能な看護計画の立案について学ぶ。
	老年看護学	老年看護学概論 Introduction to Gerontological Nursing	必修	講義	1	30	30					高齢者を身体的変化だけでなく、その人の人生や環境などを統合的に理解し、高齢者の健康と生活を支える看護職者としての基本的な考え方を学ぶ。
		老年看護学援助論Ⅰ Gerontological Nursing I	必修	講義	1	30		30				高齢者の生活の質の向上に向け、個人の可能性を最大限に発揮できるような看護援助のあり方と実践を学ぶ。
		老年看護学援助論Ⅱ Gerontological Nursing II	必修	講義	1	15			15			健康障害をもつ高齢者の看護をどのように提供するのか、その方法について具体的な事例を通して、看護実践のあり方について学ぶ。
		老年看護学援助論Ⅲ Gerontological Nursing III	必修	演習	1	30			30			老年看護学概論と高齢者の健康障害時の看護、高齢者の日常生活援助で学んだ知識と技術を統合し、高齢者の看護過程を展開する。

区分		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
							前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専門分野	小児看護学	小児看護学概論 Introduction to pediatric Nursing	必修	講義	1	30			30				子どもを発達していく存在としてとらえ、社会の中で健やかに成長・発達を遂げる権利を理解し、子どもと家族の健康な生活支援のための知識を学ぶ。
		小児看護学援助論Ⅰ Pediatric NursingⅠ	必修	講義	1	30			30				健康問題が子どもと家族に及ぼす影響について理解し、子どもの疾病の経過に応じた看護や特徴的な症状に対する看護を学ぶ。
		小児看護学援助論Ⅱ Pediatric NursingⅡ	必修	講義	1	15				15			小児の発達段階や、子どもと家族の置かれている状況に応じて看護ケアの基盤となる援助関係を形成する技術と、その方法を学ぶ。
		小児看護学援助論Ⅲ Pediatric NursingⅢ	必修	演習	1	30				30			小児に特有な疾患・症状の事例を挙げ、子どもの成長・発達を考慮して健康の回復・促進への働きかけができる知識・技術・態度を学ぶ。
	母性看護学	母性看護学概論 Introduction to Maternity Nursing	必修	講義	1	30			30				女性特有の身体的特性および心理・社会的特性を理解し、すべてのライフステージにおける女性の健康、リプロダクティブヘルスケアについて理解する。
		母性看護学援助論Ⅰ Maternity nursingⅠ	必修	演習	1	30			30				女性のライフステージ各期において、看護の展開に必要とされる医学的な基礎疾患を学ぶ。対象者を統合体として理解し、事例を通して看護の展開を学ぶ。
		母性看護学援助論Ⅱ Maternity nursingⅡ	必修	講義	1	15				15			周産期の母性と家族の健康に焦点をあて、心理社会的変化と生活への適応と、健康逸脱時のケアなどについて学習する。
		母性看護学援助論Ⅲ Maternity nursingⅢ	必修	演習	1	30				30			正常な妊娠経過と妊婦の看護と産褥・新生児の生理的な経過・変化についてとその特性に適した看護援助を学習する。
	精神看護学	精神看護学概論 Introduction to Psychiatric-Mental-Health Nursing	必修	講義	1	30			30				精神看護の概念と、精神医療と看護の変遷を学び、精神看護の機能と役割、精神保健について学ぶ。
		精神看護学援助論Ⅰ Psychiatric-Mental-Health NursingⅠ	必修	講義	1	30			30				患者理解の手段となる傾聴・共感のコミュニケーション技術の活用と、人間関係の確立とその関係性を発展させる方法について学ぶ。また、看護倫理や人間擁護についても学ぶ。
		精神看護学援助論Ⅱ Psychiatric-Mental-Health NursingⅡ	必修	講義	1	15				15			精神医療における入院環境と治療的アプローチについて患者の自立・回復を促すための支援方法を学ぶ。
		精神看護学援助論Ⅲ Psychiatric-Mental-Health NursingⅢ	必修	演習	1	30				30			セルフケア理論を活用し、患者の自立・回復を促すための支援方法や地域における精神看護、災害保健福祉活動について学ぶ。
	看護の統合と実践	看護管理 Nursing Management	必修	講義	1	15					15		看護マネジメントの目的を理解し、資源活用や医療チームに関わる人々との協働・調整について学ぶ。
		医療安全 Medical Safety	必修	講義	1	15					15		実際に起こった看護場面などから、事故発生要因や危険を理論的に考え、事故防止対策について学習する。
		災害看護・国際看護 International Nursing Disaster Nursing	必修	演習	1	30					30		災害の種類や特徴を理解し看護の役割を学ぶ。また、世界の健康問題とそれに対する看護の現状課題を知り、異文化の中での看護を学ぶ。

区分		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要	
							前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
専門分野	看護と実践の統合 臨床実習	看護の統合と実践 Integration of Nursing Science and Practice	必修	演習	2	60						60	専門職業人として質の高い医療を提供するために生涯にわたり自らの職業能力を高められるように主体的学習を継続できる能力を養う。	
		基礎看護学実習Ⅰ Basic NursingⅠ	必修	実習	1	40	40						医療施設・看護の実践現場を見学し、病院の機能・看護の機能・役割を学ぶ。入院患者とのコミュニケーションを通して看護の対象者の気持ちや療養生活を理解する。	
		基礎看護学実習Ⅱ Basic NursingⅡ	必修	実習	2	80		80					健康障害をもつ対象を受け持ち、対象と誠実な人間関係を築く。対象に必要な日常生活の援助方法を学ぶ。	
		地域・在宅看護論実習 Local&Home Care	必修	実習	2	80						80	在宅看護の対象のニーズ及び生活特性を理解し、健康障害を持ちながらもその人らしい在宅療養生活が送れるよう他職種との連携・協働のあり方を学ぶ。	
		成人・老年看護学実習Ⅰ（慢性期） Clinical Practice in Adult& Gerontological NursingⅠ	必修	実習	2	80						80	慢性疾患や障害があり、生涯にわたり生活を再調整・維持する必要のある対象の健康問題の解決に向けた看護を学ぶ。	
		成人・老年看護学実習Ⅱ（急性期） Clinical Practice in Adult& Gerontological NursingⅡ	必修	実習	2	80						80	急激な健康破綻をきたした患者とその家族に対して、患者の心身の状況と特徴を理解した上で、心身の安定を図り、順調な回復過程をたどるための看護を学ぶ。	
		成人・老年看護学実習Ⅲ（終末期） Clinical Practice in Adult& Gerontological NursingⅢ	必修	実習	2	80						80	疾病からの回復が困難、もしくは人生最期の時にある患者・家族の苦痛や状況を理解し、QOLの向上を目指した援助の重要性を学ぶ。	
		老年看護学実習Ⅰ（施設） Clinical Practice in Gerontological NursingⅠ	必修	実習	2	60			60				高齢者が生活している場と家族や保健・医療・福祉その他の関連機関との連携や役割について学ぶ。	
		老年看護学実習Ⅱ（病院） Clinical Practice in Gerontological NursingⅡ	必修	実習	2	80				80			健康上の問題をもつ老年期の人とその家族を理解し、問題解決思考過程の看護展開を学ぶ。	
		小児看護学実習 Clinical Practice in Pediatric Nursing	必修	実習	2	80						80	小児各期の成長・発達を理解し、成長発達段階・健康段階にある小児及び家族に応じた援助を行うための知識・技術・態度を学ぶ。	
		母性看護学実習 Clinical Practice in Maternity Nursing	必修	実習	2	80						80	妊婦・産婦・褥婦と新生児が生理的変化に適応していくプロセスと健康の保持・増進していくための看護の実際を学ぶ。	
		精神看護学実習 Clinical Practice in Psychiatric-Mental-Health Nursing	必修	実習	2	80						80	精神看護の概念と、精神医療と看護の変遷を学び、精神看護の機能と役割、精神保健について学ぶ。	
		看護の統合と実践実習 Integration of Nursing Science and Practice	必修	実習	2	80							80	看護チームの一員として、実務に即した看護実践に主体的に取り組み、看護実践能力の向上を目指す。
		総単位数/総時間数					105	2955	490	605	540	500	120	700